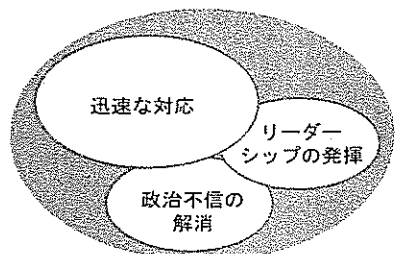
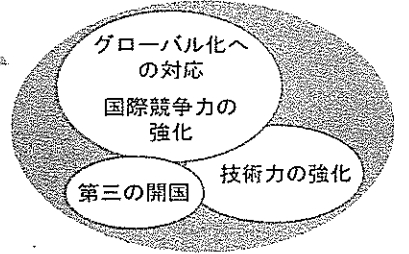
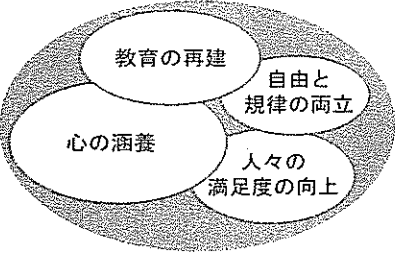
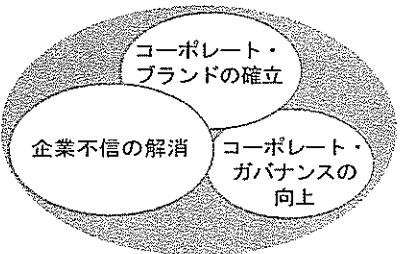
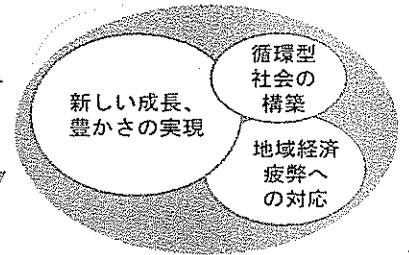
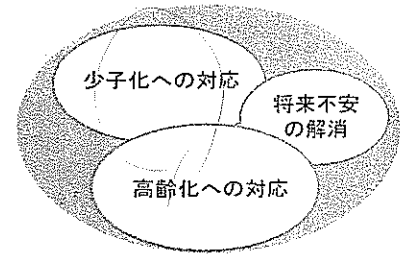


# ビジョンの流れ

## 第1章 新たな実りを手にできる経済を実現する

1. 「民主導・自律型」システムが新しい成長をつくる  
 ▽日本型成長モデルの確立 (2%程度の実質成長)  
 ▽税制の再構築 (消費税率の段階的引き上げ、納税者番号制度の導入)  
 ▽社会保障における給付のスリム化  
 ▽個人の選択の拡大
2. 連結経営的発想により日本の付加価値創造をとらえ直す  
 ▽国民の欲求・ニーズを満たす製品開発、生産性向上  
 ▽日本企業の海外における直接投資収益を日本国内の経済活動の環に戻し、付加価値を創造
3. 「MADE "BY" JAPAN」戦略を推進する  
 ▽大学改革・専門的外国人の受け入れを含む産学連携の強化  
 ▽国の研究開発投資の改革、産学連携プロジェクトの公募  
 ▽新技術の産業化競争の促進と企業にリスクテイクを促す法人税率の大幅引き下げ
4. 個人、企業、行政がともに「環境立国」戦略を進める  
 ▽日本の環境への取り組みをグローバルスタンダード化
5. 時間的・空間的余裕から新しい豊かさのかたちを生む  
 ▽住宅投資の促進 (住宅取得支援税制の改革)  
 ▽共同価値に基づく街づくり ▽都市への民間投資誘導

## 21世紀の課題



## 第2章 個人の力を活かす社会を実現する

1. 個人の多様な価値観、多様性を力にする  
 ▽企業中心から個人中心の社会へ  
 ▽企業はコーポレート・ガバナンス、コーポレート・ブランドを確立 (経営トップの意識改革、「信頼」に基づく経営)  
 ▽資本市場の充実
2. 「公」を担うという価値観が理解され評価される  
 ▽州制の導入による国と地方の主従関係の解消  
 ▽協力的市場の形成
3. 「精神的な豊かさ」を求める  
 ▽教育の再建 (教育界への競争原理の導入、リーダーの育成)  
 ▽仕事と子育ての両立支援 (職・住・老・保近接、地域・企業のファミリー・フレンドリー化)  
 ▽自分のニーズに適した医療の選択 ▽死生観の確立
4. 多様性を受け入れる  
 ▽外国人も活躍できる環境の整備

## 第3章 東アジアの連携を強化しグローバル競争に挑む

1. 自らの意思による「第三の開国」を  
 ▽多国間・地域・二国間レベルで積極的通商政策の展開
2. 東アジアを強力なハブに
3. 「5つの自由」と「2つの協力」を実現する  
 ▽モノ、サービス、ヒト、カネ、情報の移動自由化  
 ▽域内協力 (アジア通貨基金等) とグローバルな問題解決 (地球環境問題への対応等)
4. 東アジアの多様性が生み出すダイナミズムと発展  
 ▽世界の生産基地と巨大市場の創出
5. 東アジア自由経済圏の実現に向けた課題  
 ▽「ビジョンの共有」と「日本のリーダーシップ」

## 第4章 改革を実現するために

1. 公を担う民の動きをリードする
2. 政治との新たな協力関係を確立する